

科目名	真宗学講読Ⅲ					単位	2.0
担当教員	廣瀬 惺						
授業形態	演習	開講期間	通年	配当年次	1	授業番号	4391

●授業のテーマ

『教行信証』に学ぶ

●到達目標

総序については、すらすらと読めるようになる。また、『教行信証』の学び方が読誦にあることを身につける。

●学習内容(授業概要)

親鸞の主著である『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）は、おおよそ親鸞が五十歳の頃から書き始めて、生涯にわたって筆を加え続けていかれたものである。そのことから、『教行信証』は親鸞の宗教的生命そのものが表現されている書であることがわかる。その書に、私たちが人間として生まれたことの根本問題とは何か、また、人間として生きるとはどのように生きることなのかを学びたいと思う。授業は、『教行信証』の素読を中心にすえて、進めていきたい。

●学習内容(授業計画)

1. 『教行信証』とは、どのような書か
2. 『教行信証』の学び方
3. 『教行信証』の概要
4. 『教行信証』の撰述年時
5. 『教行信証』の撰述意趣（後序を通して）
6. 『教行信証』の撰述意趣（後序を通して）
7. 『教行信証』の撰述意趣（総序を通して）
8. 『教行信証』の撰述意趣（総序を通して）
9. 『教行信証』の撰述意趣（別序を通して）
10. 『教行信証』の撰述意趣（別序を通して）
11. 『教行信証』の構成（1）
12. 『教行信証』の構成（2）
13. 題号について
14. 前期のまとめ
15. 質疑とテスト

16. 前期の復習
17. 『教行信証』と『選択集』
18. 総序の総論
19. 総序1段目（1）
20. 総序1段目（2）
21. 総序2段目（1）
22. 総序2段目（2）
23. 総序3段目（1）
23. 総序3段目（2）
24. 総序4段目（1）

25. 総序 4 段目 (2)
26. 総序 5 段目
27. 別序 (1)
28. 別序 (2)
29. 後期のまとめ
30. 質疑とテスト

●準備学習・事後学習の内容

毎回、次回の授業について予習しておくべきことを指示するので、その指示に基づいて授業にのぞんでください。また毎時間、学んだ内容を記したノートを、復習として読み直してください。

●成績評価方法・基準

定期試験 8 割 出席等平常点 2 割

●テキスト (必携)

≪No.1.≫書籍名：『真宗聖典』、出版社：東本願寺出版部、販売先：学内

●参考文献／その他

特に無し

●履修上の注意

学生諸君との呼応を大切にしたい授業をするように心がけたい。授業への積極的な参加を望む。また、学生諸君の様子を見ながら授業を進めるので、必ずしもシラバス通りに進むとはかぎらない。